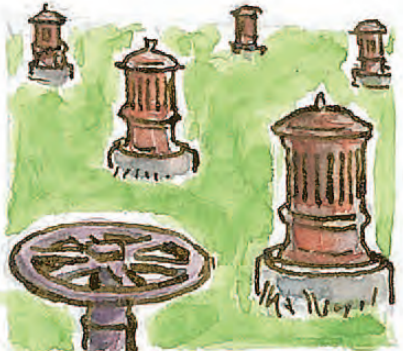


① 焼山浄水場跡

焼山浄水場は、昭和24年(1949)に建設されました。蛭根配水場から送られてきた工業水道に、ろ過・塩素消毒を行い、旧国道に布設された配水管から、土崎・寺内地区へ給水していました。今は役目を終え、一部の設備はほぼ当時の姿で現存しています。



② 東門院跡

東門院は、京都聖護院(天台修験の本山)末寺で四天王寺に属し、古四王社の神宮寺(神社に付属して建てられた寺院や仏堂)として管理していました。佐竹氏支配の時に東門院は聖護院と縁を切り、真言宗に転化しました。明治になって、神仏分離の結果古四王神社として独立し、国幣小社に列せられました。

③ 旭さし木

推定樹齢約1,200年の巨木で、市内で1番古いと言われています。菅江真澄の「水のおもかげ」によると、昔この地域に住んでいた「旭」という長者の家の目印であったことから、この名前が付いたと言われています。明治19年(1886)の俵屋火事により、幹の一部が空洞化していますが、枯死を免れ徐々に樹勢を回復し、立派に葉を茂らせる生命力には驚かされます。昭和48年(1973)に市天然記念物に指定されました。



⑥ 旧馬口旁町碑

現在、外町の南に位置する馬口旁町は、寛永6年(1629)に寺内の前城から移された町です。昭和7年に前城に石碑を作りましたが、自立しなかったことから平成14年に馬口旁町町内会の方々が、石碑を人目の付かない場所から現在の後城道路沿いに建て直しました。



⑦ ツツ五輪

文字が判別できないほど風化がすすんだ石碑ですが、慶長19年(1614)に隣国の藩主最上義光にそむき、土崎に隠れ住んでいた安彦左衛門尉藏人兄弟を善提する文字が読み取れます。はじめ雄物川を望む岸壁の上に建立しましたが、臨海道路や臨海工業団地造成により、大小路地内の道路端に移設されました。



⑧ 菅江真澄翁の墓

江戸時代後期の紀行家・菅江真澄は三河国(現愛知県)に生まれ、天明5年(1785)に秋田に入りました。その旅の日記と地誌類「菅江真澄遊覧記」は、歴史や民俗研究の貴重な資料であり、重要文化財となっています。文政12年(1829)に仙北で没しましたが、遺言により、親交が深かった寺内の田村神社神主・鎌田正家の墓域に葬られました。昭和37年に秋田市の史跡第1号に指定されています。



④ 高清水霊泉

7世紀中頃、越国(現北陸地方)守の阿倍比羅夫が高清水岡に越王(古四王)を祀ったところ、突如湧き出したといわれる霊泉で、地名「高清水」の由来となりました。古四王神社の御手水として使用され、かつては周囲の清流にサンショウウオが生息するほど澄んだ水で、古代の武将が飲み水として利用したともいわれます。(※現在は飲み水として使用できません。)霊泉の傍には聖観音立像が安置されており、訪れた人々によって霊水が捧げられ、今も大切にされています。



⑤ 三吉神社遷拜殿

五輪坂(五輪の塔の北側)に建てています。戊辰の役の際、藩主義亮が赤沼の三吉神社に戦勝祈願をしたところ、霊験があり勝利したことから、秋田藩主中川伝也が土崎以北の住民の参詣の便を図り、明治4年(1871)この地に拜殿を建立しました。

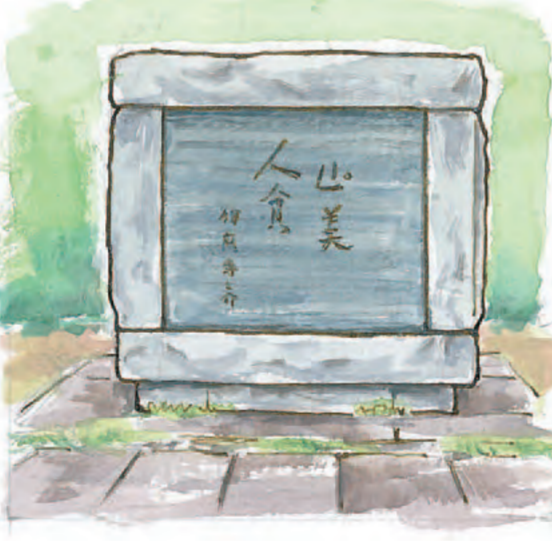


※解説文についての番号は、マップ表面のイラストについての番号に対応しています。

番号の位置(マップ表面)



しました。晩年の永之介が好んで記した言葉「山美しく人美しい」と刻まれた歌碑は、昭和35年に建立されました。



⑫ 五輪ノ塔

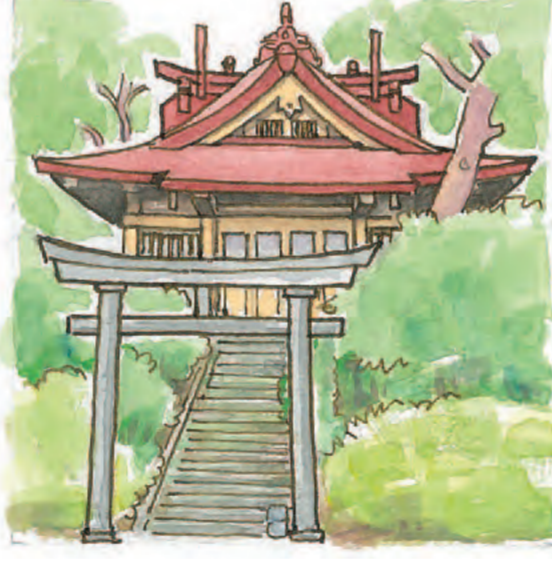
寛永20年(1643)に、久保田の豪商森九蔵が建立した供養塔。灯りをともし、港を出入りする船の目印にしたと言われています。文化元年(1804)と同年には地震で2度倒壊し、現在の塔は昭和42年(1967)に高清水公園内に復元された4代目です。この塔に至る坂道は五輪坂と呼ばれています。



⑬ 両津八幡神社

両津と八幡の合祀社で、両津の名称は河川2流と船の着く地を意味しているといわれます。縁起によると、天武元年(781)に出羽の探察使(役人)・小黒黒、武将・紀古佐美らが応神天皇を祭神として建立したのが始まりとされています。延暦年中に安部黒織により坂上田村麻呂の2寸2分の像が安置されると、その後

はこの地を支配した安東氏らの豪族が武神として崇めたといわれます。現在の外旭川地域の神田や八幡田といった地名は、かつて、そのあたりまでが神田領であったことの名残です。



⑭ 古代沼

秋田城外郭東門を出て、南方側にみえる古代の沼地。堆積していた泥炭層から、人面墨畫土器や人形など、まじないに関わる遺物が多く発見されています。

⑮ 古代水洗舎(トイレ)

鶴ノ木地区の外れで発見された奈良時代の水洗トイレです。立派な建物に水洗施設を備えた機能的な古代トイレは、現在のところ秋田城跡でしか確認されていません。沈殿槽・堆積槽(未消化の種子や糞虫の死骸など)の分析から、当時の食文化が推測され、大陸からの来訪者が使用した可能性が指摘されています。平成21年に復元されました。



⑯ 兎塚貝塚

高清水丘陵の東南端、標高約30mに立地する縄文時代前期(約5,500年前)の貝塚。日本海側では数少ない貝塚の一つで、大木式土器様式の土器分布を考えると貴重な遺跡です。この地域は、現在はござくらと呼びますが、古くは「ちござくら」と呼ばれていました。古四王宮大祭の時、稚児の舞が行われたところから、また兎塚というめでたい花が咲いたことが地名の由来であると言われています。

⑰ 越前谷人形工房

4代目越前谷さん曰く、「一番大事なことはボーッと考えることだそうです。土崎岬山祭り近隣の6、7月にしか見るのでない、人形造りの風景です。」



⑱ 田村神社

延暦22年(797)に古四王大神のお膝元に田村麻呂将軍の宮を営し、里人は大獄丸を射止めたものといわれる白羽の矢を2本祀り、武神として崇められました。田村堂の神官・鎌田正家は、菅江真澄の支援者でした。



⑲ 古四王神社

創建は奈良時代にさかのぼりますが、詳細は不明。桓武天皇の延暦年間(782~806)に坂上田村麻呂が蝦夷平定の際、この宮に立ち寄り再興したと伝えられています。聖武天皇の代に、諸



買ひ人なら **秋田チケット**
金 プラチナ・ダイヤ
高価買い取りします!!
商品券、ギフト券、旅行券 各種金券!!
1枚から 高価買取します。
お気軽にお立ち寄り下さい。

化粧室が付いて更に便利に **格安!!**
秋田・新箱根 深夜高速バス **キラキラ号**
片道 **6,000円** 往復 **11,000円**
秋田→東京・仙台・盛岡 **JRこまちきっぷ**

秋田チケットで賢くおトクに! **安心買い取り!!**
山王店 秋田駅前店 アルヴェ店
秋田市役所裏 広小路西武秋田店となり 駅前センターアルヴェ1F
☎018-823-5959 ☎018-831-8500 ☎018-837-6116

秋田県秋田市仁井田産 **稲庭落うどん**
秋田県産のお求めは **稲庭落うどん**
秋田空港売店 トレジャー アルヴェにてお求めは **稲庭落うどん**
美人に。 **食べて**
美しさを保つ秘訣は **稲庭落うどん**
ご購答に最適な「極」シリーズもございます。
だいえんどろ 検索
販売店 http://www.daiendou.com
(有)オーエーエー
TEL.018-824-6656 FAX.018-824-6650

本物の味 **かつぎ**
やつと出会えた
商品券・ギフト券使用可能
千010-0804 秋田県秋田市外旭川八幡1丁目1-36
TEL.018-868-6565
【アクセス】秋田自動車道：秋田北から分
天徳寺通りうたたストア内
【駐車場】第1・第2駐車場有 / 15台(無料)

宅配・持帰り **ご予約受付中!**
※ご予算に合わせていかにように調整致します。
人気 **ヒレカツサンド!**
◎米の糎ぶたロールかつ弁当
◎とんかつ弁当◎ヒレロかつ弁当
◎ヒレかつ弁当のロールかつ弁当
◎エビフライ弁当・お好み弁当
営業時間 / 11:00~22:00
(ラストオーダー) 21:00
(ランチタイム) 11:00~14:30
年中無休
会議 各種 盛皿

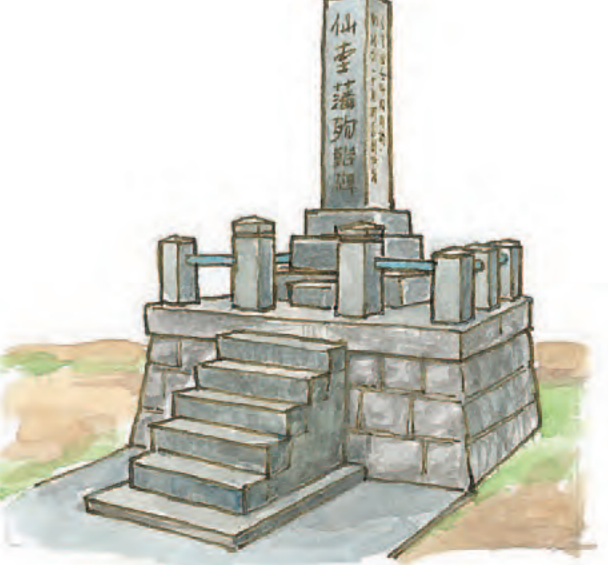
⑳ 西米院

曹洞宗少林山と号し、羅漢さんとも呼ばれています。もと藤倉にある補陀寺2世良雄和尚の開創寺が廃絶したものを、寛政年間(1799)に秋田藩9代藩主佐竹義和がこの地に再興させました。神社の裏山は、三十三番の巡拝地となっており、境内には万魚供養碑、筆塚などの石碑が多く建立されています。寺宝に東指定有形文化財「涅槃図」と市指定有形民俗文化財「熊野観心十界曼陀羅圖」があります。



㉑ 仙台藩殉難碑

慶応4年(1868)7月4日に、奥羽白石同盟にもつき、仙台藩から送られた特使・志茂又左衛門、副使山内富治ら11人が茶町(現秋田市大町)の宿舎の幸野屋と仙北屋で久保田藩士らに暗殺されました。明治3年(1870)に草津津川刑場に埋められていた11名の亡骸は戦後に掘り起こされ、西米院に改葬されました。明治21年(1888)10月に当時秋田市に在住していた宮城県人竹内貞寿氏を中心とした有志が、勝海舟の揮毫による慰霊碑を現在地に建立しました。



㉒ 田州街道

羽州街道の景観は、「秋田街道絵巻」(伝・萩津勝孝 筆)に描かれています。久保田城下から土崎への道は通称・八橋街道とも呼ばれ、茶屋や古跡のある風景に富んだ景観で、旅人にとっては旅情豊かな街道だったと想像されます。



㉓ 伽羅橋

伽羅橋にまつわる伝説はいろいろありますが、その1つは、ある時浪速の舟人が夕暮れに火繩を振ってこの橋にさしかかったところ、火繩を落としてしまっ橋の一部を焦がしてしまいました。するとあたりにより春が漂ったので、船に木を積んで津の国(現在の大阪府や兵庫県周辺)へ行き、それを売って大いに利益をあげました。以来、この橋を伽羅橋(または勝海舟橋)と呼ぶようになったといわれています。



まちあるきの注意点

※個人住宅や敷地には立ち入らないでください。

- は、歴史の説明などが記されている標柱や碑を表します。
- は、石碑群を表します。
- は、神社を表します。
- は、標柱を表します。

----- 秋田城跡政庁区画

----- 秋田城跡外郭線

----- 史跡秋田城跡指定境界線

史跡 秋田城跡

秋田城跡は、奈良時代から平安時代にわたって東北地方の日本海側(出羽国)に置かれた大規模な地方官庁の遺跡で、古代の政治・軍事・文化の中心地でした。
天平5年(733)に、山形県の庄内地方にあった出羽捕が「国府」が置かれ、津軽(青森)・渡嶋(北海道)のほか、大陸の渤海国(中国東北部)など、外交や対北方交易の拠点としても重要な役割を果たしていたと考えられています。
昭和14年に、遺跡の重要性が認められて国の史跡に指定されました。



このマップは、市民がまち歩きをして作成しました!



秋田城跡調査事務所
秋田市寺内焼山9番6号 ☎018-845-1837

秋田城跡出土品収蔵庫
秋田市寺内焼山4番1号 ☎018-846-9595
開館時間 9:00~16:00 (入館は15:30まで)
休館日 冬期間(12月1日~3月31日)
入館料 無料

秋田市観光案内所(秋田駅構内)☎018-832-7941
(財)秋田観光コンベンション協会☎018-824-8686

編集・発行: 秋田市教育委員会 文化振興室
秋田市山王二丁目1番53号 山王2ビル4階
電話番号 018-866-2246 FAX番号 018-866-2252

協力: 寺内地区市民憲章推進協議会 石井 護(第1回ワークショップ)
寺内地区町内連絡協議会 米田次男(第2回ワークショップ)

印刷: 秋田活版印刷株式会社
イラスト: 小西 由紀子
発行日: 平成25年3月

文化財イラストマップ 秋田市寺内地区編

あまのまち再発見 ぐるっと文化財マップ

見て楽しい、歩いて楽しい

大昔の建物の跡だよ
きれいな沼があるよ
とてもしずかな木だね...
神様がたくさんあるね
すごく急な坂だね...
こんなところには石群が!



1 焼山浄水場跡 昭和24年に建築された浄水場の跡です。

2 東門院跡 鳥井氏のお墓

3 旭さし木&目洗い水 鎌倉時代、200年の巨木の目洗井戸(「あらいど」高麗な女性が使った井戸)と号んでいたとのこと

4 高清水霊泉 昔地蔵の入り口(「くわい」上層井戸(「あらいど」高麗な女性が使った井戸)と号んでいたとのこと)

5 三吉神社遷葬殿

6 馬口労町跡碑 旭町馬口労町のまじり

7 二つ五輪

8 菅江真澄翁の墓 船着場跡

9 空素沼 江戸時代に閉じられたとされる沼跡(「あらいど」高麗な女性が使った井戸)と号んでいたとのこと

10 護国神社 本殿改修の社屋新築は、県内唯一の規模です!

11 伊藤永乃介の歌碑 テレビのなま

12 五輪ノ塔 おでんみたいな形

13 両津八幡神社 ハート型発見!

14 古四王神社 もとは北朝を向いていた

15 西来院

16 児桜貝塚(標柱) 県内で最少ない貝塚遺跡(縄文時代中期の遺跡)と知られても貴重です

17 越前谷人形工房 山形に数々の人形を作っている工房

18 田村神社 坂上村麻呂のの神社

19 石龍神社 古戦と書かれていますか? 寺内地区センター前

20 仙台藩殉難碑 明治21年に名臣の殉難者の方々に建てられた。碑文は海軍の軍にさるものか

21 高清水小学校

22 旧羽州街道(標柱)

23 寺内焼山跡 江戸時代の敷居が現れらる

24 伽羅橋

25 大黒屋さんの句碑 昔は羽州街道のお茶屋(中の茶屋)だったこと

26 屋敷山 古四王神社の例祭で使用する社があります

27 泉 大黒屋さんの句碑

28 泉 大黒屋さんの句碑

29 泉 大黒屋さんの句碑

30 泉 大黒屋さんの句碑

31 泉 大黒屋さんの句碑

32 泉 大黒屋さんの句碑

33 泉 大黒屋さんの句碑

34 泉 大黒屋さんの句碑

35 泉 大黒屋さんの句碑

36 泉 大黒屋さんの句碑

37 泉 大黒屋さんの句碑

38 泉 大黒屋さんの句碑

39 泉 大黒屋さんの句碑

40 泉 大黒屋さんの句碑

41 泉 大黒屋さんの句碑

42 泉 大黒屋さんの句碑

43 泉 大黒屋さんの句碑

44 泉 大黒屋さんの句碑

45 泉 大黒屋さんの句碑

46 泉 大黒屋さんの句碑

47 泉 大黒屋さんの句碑

48 泉 大黒屋さんの句碑

49 泉 大黒屋さんの句碑

50 泉 大黒屋さんの句碑

51 泉 大黒屋さんの句碑

52 泉 大黒屋さんの句碑

53 泉 大黒屋さんの句碑

54 泉 大黒屋さんの句碑

55 泉 大黒屋さんの句碑

56 泉 大黒屋さんの句碑

57 泉 大黒屋さんの句碑

58 泉 大黒屋さんの句碑

59 泉 大黒屋さんの句碑

60 泉 大黒屋さんの句碑

61 泉 大黒屋さんの句碑

62 泉 大黒屋さんの句碑

63 泉 大黒屋さんの句碑

64 泉 大黒屋さんの句碑

65 泉 大黒屋さんの句碑

66 泉 大黒屋さんの句碑

67 泉 大黒屋さんの句碑

68 泉 大黒屋さんの句碑

69 泉 大黒屋さんの句碑

70 泉 大黒屋さんの句碑

71 泉 大黒屋さんの句碑

72 泉 大黒屋さんの句碑

73 泉 大黒屋さんの句碑

74 泉 大黒屋さんの句碑

75 泉 大黒屋さんの句碑

76 泉 大黒屋さんの句碑

77 泉 大黒屋さんの句碑

78 泉 大黒屋さんの句碑

79 泉 大黒屋さんの句碑

80 泉 大黒屋さんの句碑

81 泉 大黒屋さんの句碑

82 泉 大黒屋さんの句碑

83 泉 大黒屋さんの句碑

84 泉 大黒屋さんの句碑

85 泉 大黒屋さんの句碑

86 泉 大黒屋さんの句碑

87 泉 大黒屋さんの句碑

88 泉 大黒屋さんの句碑

89 泉 大黒屋さんの句碑

90 泉 大黒屋さんの句碑

91 泉 大黒屋さんの句碑

92 泉 大黒屋さんの句碑

93 泉 大黒屋さんの句碑

94 泉 大黒屋さんの句碑

95 泉 大黒屋さんの句碑

96 泉 大黒屋さんの句碑

97 泉 大黒屋さんの句碑

98 泉 大黒屋さんの句碑

99 泉 大黒屋さんの句碑

100 泉 大黒屋さんの句碑

寺内について

寺内地区は、県庁や市役所などがある市街地と、中・近世に港町として栄えた土崎地区の中間にあります。寺内の地名は、その昔、東門院をはじめ、妙覚寺、光明寺、大悲寺といった寺院の内側にあつたところから付けられたといわれています。また、起伏の多い地形から「小高い丘陵地で清水の湧く所」という意味で「高清水の丘」と呼ばれています。古くから枯れることなく湧き続ける高清水霊泉、木々に囲まれ神秘的な雰囲気かたよる空素沼、地域の人たちの生活を見守り続ける市内最古といわれる巨木の旭さし木など、豊かなと縁に彩られた地域です。また、現在も発掘調査が続く史跡秋田城跡や、長い歴史があり地元の人たちの守護神となっている古四王神社、紀行家として名高い菅江真澄が眠るお墓など、見どころいっぱいです。

寺内のお祭り ~古四王神社例祭~

毎年5月7日と8日の2日間、古四王神社のお祭りです。寺内地区は賑わいます。8日の例祭では、神様を迎えた神輿が神社を出て町内を廻ります。途中、御旅所と呼ばれる近くの登陸山で一休憩し巫女神楽などの祭りが行われた後、神職や氏子たちに守られながら神輿はさらに町内を練り歩きます。神輿行列の中では、氏子の持つ丈の長い稲付棒がひときり目をひきます。稲付棒は、長さ約3m、太さ約9cmほどの杉の棒に、水に溶いた米の粉を塗り付けたもので、この米粉の粘り方や落ち方によってその年の豊凶が占われるといわれています。神輿行列が奏でるゆったりとした太鼓のリズムと、「ヤンヨーヤンヨー」という独特の掛け声が和やかに響く、古式ゆかしいお祭りです。



0 50 100 200m
※200mを歩くには約2.5分かかります。